

現場の工夫 がつながる

「インフラ DX 知恵袋」を公表しました！

～現場の知恵から生まれる“小さな改善”のヒントプラットフォーム～

中部地方整備局では、建設業界における生産性向上や担い手確保を目的として、ICT やデジタル技術を活用した「インフラ DX」の推進を進めています。このたび、当局事務所で契約中の工事・業務委託企業などに対し、現場や社内での工夫・改善事例の提供をお願いし、「いつもの仕事」で生まれた数多くの小さな工夫や改善を含む幅広い事例を収集しました。これらの知見を、インフラ DX 推進のヒントを誰もが得られる共有プラットフォームとして整理し、「インフラ DX 知恵袋 ～現場の工夫でつなげる未来～」として公開しましたので、お知らせします。

掲載した取組は、大規模な先進技術の導入事例に限らず、**日常業務で取り組まれている“小さな改善”を主な対象**としています。**現場で生まれた知恵や工夫を共有することで、業界全体の生産性向上と働きやすい環境づくりにつなげていきます。**

1. 「インフラ DX 知恵袋」のアクセス方法と特徴

- 本取組は、現場や社内で日常的に行われている“小さな改善”や、“いつもの仕事”の中で生まれたちょっとした工夫を共有し、業界全体で学び合える環境をつくることを目的としています。
- 大規模な先進技術の導入に限らず、身近で実践しやすい改善事例を幅広く収集・公開することで、インフラ DX をより身近に感じられる点が特徴です。
- 今後も継続的に事例収集を行い、「インフラ DX 知恵袋」をアップデートしていく予定です。
- 現場で生まれた新たな工夫や改善を随時反映し、誰もが参照できる“ヒントプラットフォーム”として充実を図るとともに、発信方法の拡充を通じて、建設業界における生産性向上と働きやすい環境づくりに貢献していきます。

【👉 アクセスはこちら 👉】

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/dx/chiebukuro/index.html>



2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

【問合せ先】

国土交通省 中部地方整備局 企画部 中部インフラ DX 推進室

建設情報・施工高度化技術調整官 竹原 雅文（たけはら まさふみ）

建設専門官 高井 知啓（たかい ともひろ）

直通：052-953-8131